



# 院長通信



2026年 4月 Vol.5

## 「和」を原点としてチーム医療を考える

当院の理念は、「和」を原点として、という言葉から始まります。これは初代院長である久野敏人先生が、私たちに残して下さった大切な教えです。

近年、社会では人間関係の希薄化や分断が取り沙汰されることもあります。しかし医療の現場においては、さまざまな職種が連携する「チーム医療」が診療の基盤となっています。

医師や看護師をはじめ、薬剤師、栄養士、臨床検査技師、放射線技師、リハビリテーション療法士、医療ソーシャルワーカーなどのコメディカル、そして事務職員まで、多くの職員が一つのチームとして患者さんを支えています。こうした連携があってこそ、外来や病棟の診療が円滑に進み、質の高い医療の提供につながります。

また、多職種間での円滑な連携と情報共有は、診療サービスの向上や医療安全にも直結します。他職種が読んでも理解できる電子カルテの記録や、明確なオーダーの記載、コメント欄や医師指示の活用なども、チーム医療を支える大切な取り組みです。

私のミッションの一つは、「働きやすい職場づくり」です。そのためには、部署内だけでなく、部署を越えたコミュニケーションを大切にしていくことが重要だと考えています。職種や立場を越えて互いに相談し、意見や提案を安心して伝えられる雰囲気をつくること。いわゆる「心理的安全性」を高め、誰もが力を発揮できる環境を整えることが、これからの私たちの課題です。

当院の理念である「和」を大切にしながら、職員一人ひとりがチームの一員として支え合い、よりよい医療を患者さんに届けていきましょう。

院長 福田 亘